

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2光陽		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 5月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名 (兄弟利用1家族含む)	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和8年 5月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 6月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラム構成	将来を見据え、一人ひとりの成長につながるようなプログラム構成を意識している。継続的な取り組みを通して力をつけられるよう支援するとともに、ご利用者様の状態や課題に応じたグループ編成を行い、段階的な成長やステップアップにつなげている。	療育を通して、「楽しい」という気持ちを大切にしながら、苦手なことにも挑戦するきっかけづくりを行っている。成功体験や達成感を積み重ねることで、自信につながる支援内容の充実を図っていく。
2	就労部門との連携が図れ 療育内容に展開されている	就労部門と連携を図ることで、学年が上がるにつれて将来の進路や働くことについて考えるきっかけづくりを行っている。 また、定期的な勉強会や情報提供を通して、保護者様にも進路について具体的なイメージを持っていただけるよう努めている。 就労部門の職員の方々と関わることで、将来の目標や憧れを持つ機会となっている。 学年や発達段階に応じて、必要な姿勢や人との関わり方を学べるよう、体験型の活動や段階的に成長できる取り組みを実施している。	保護者様に対しては、法改正や進路に関する情報を分かりやすくお伝えできるよう、今後も説明会等を継続して実施していく。 また、対象学年の保護者様には、懇談の場でも進路に関する情報共有を丁寧に行っていく。 ご利用者様への支援では、ステップアップを目指す中で、競争や評価を取り入れた活動も実施しながら、努力することの大切さや、成功・失敗の経験を通して学ぶ機会につなげていく。
3	SNSの活用	SNSを活用し、日々の活動の様子を継続的に発信している。 活動内容や事業所での取り組みを知っていただけるよう、ご利用者様の様子や活動の目的が伝わる発信を心掛けている。	写真だけでなく、動画での発信も取り入れながら、より活動の雰囲気やご利用者様の頑張る姿が伝わるよう工夫していく。 また、事業所での様子や成長した姿について、必要に応じて個別に電話連絡を行うなど、保護者様へ丁寧に共有できるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コロナ禍以降、地域交流で行っていた文化祭の活動が実施できておらず、地域交流の活動が減っている。	コロナ禍において、感染対策の観点から他者との関わりや地域との交流機会が制限されていたことが要因の一つと考えている。	買い物や外食体験、公共交通機関を利用した外出活動などを取り入れながら、社会経験や地域との関わりを深める機会を増やしていく。 また、地域イベントへの参加等を通して、地域交流の機会づくりに努め、インクルーシブな社会参加につながる取り組みを行っていく。
2			
3			